

ギガらくカメラ

クラウドプラン

ゲートウェイで利用するカメラの設定

第1.1版

- 本資料はNTT東日本が提供する、ギガらくカメラにご契約頂いたお客様が「ゲートウェイ」に接続する市販カメラ（以降、ゲートウェイカメラ）の設定を行う上での情報を記載した資料です。
- 「クラウドプラン」のビューア操作については、別冊「ビューア操作マニュアル」をご確認ください。
- 本サービスにお心あたりの無い方、ご契約を頂いていない方は本資料を破棄頂きますようお願い致します。

【目次】

1. はじめに

- 1-1. はじめに
- 1-2. ゲートウェイに接続の市販カメラに対する提供機能について
- 1-3. ゲートウェイ(略称：GW)について

2. 設定

- 2-1. 市販カメラに必要な設定について
- 2-2. 接続情報の設定
- 2-3. 映像・時刻情報等の設定

参考：市販カメラの設定例

別紙. (参考)共通作業

- 別紙-1. ネットワークへのパソコンの接続例

1. はじめに

1 - 1. はじめに

- 本マニュアルは、ゲートウェイ装置を利用して市販カメラを使用するにあたって、お客様で実施いただく市販カメラ設定や注意点等をまとめたものです。
- 市販カメラについてはサポート対象外です。設定方法、接続トラブルなどのお問い合わせは受け付けていませんのでご了承ください。
- 本マニュアルに記載の手順を実施したことにより発生するトラブル等に関しては責任を負いかねます。あらかじめご容赦いただき、故障や設定のトラブル等についてはお客様にてご解決いただくか、カメラメーカーのサポート等でご解決いただきますようお願いいたします。
- 市販カメラのNWのセキュリティの確保等についても、お客様で実施いただくようご注意ください。

1 - 2. ゲートウェイに接続の市販カメラに対する提供機能について

■ゲートウェイ装置を経由する場合、専用カメラと比較してサービス提供機能の一部に制限がかかりますので、ご注意ください。

ギガらくカメラ提供機能	ゲートウェイ装置を経由する場合	
常時録画機能	動画保存	○ (動画コーデックH.264対応機器のみ※)
	音声保存	○ (音声コーデックAAC-LC/G.711対応機器のみ※)
	セキュリティ	○ (ゲートウェイ⇒クラウド間のデータ暗号化)
検知・通知機能	動体検知	○ (カメラ本体が動体検知する場合のみ※)
	音声検知	× (カメラ本体に音声検知の機能が実装されている場合でも使用不可)
	接続・切断通知 (システムからの通知機能)	ゲートウェイ本体
ゲートウェイ 配下のカメラ		○
シングルビューワ機能	ライブ	○
	ビデオ	○
カメラ操作 (パン・チルト・ズーム・音声送話)	パン	○ (対応機種のみ※)
	チルト	○ (対応機種のみ※)
	ズーム	○ (対応機種のみ※)
	音声送話 (スピーカ)	× (カメラ本体に音声送話の機能が実装されている場合でも使用不可)
	スナップショット	×
シェア・タグ設定	○	
クリップ動画・一括動画DL機能	○	
タイマー設定	○	

※カメラ機種の相性により使用できない場合があります

1 - 3. ゲートウェイ(略称 : GW)について

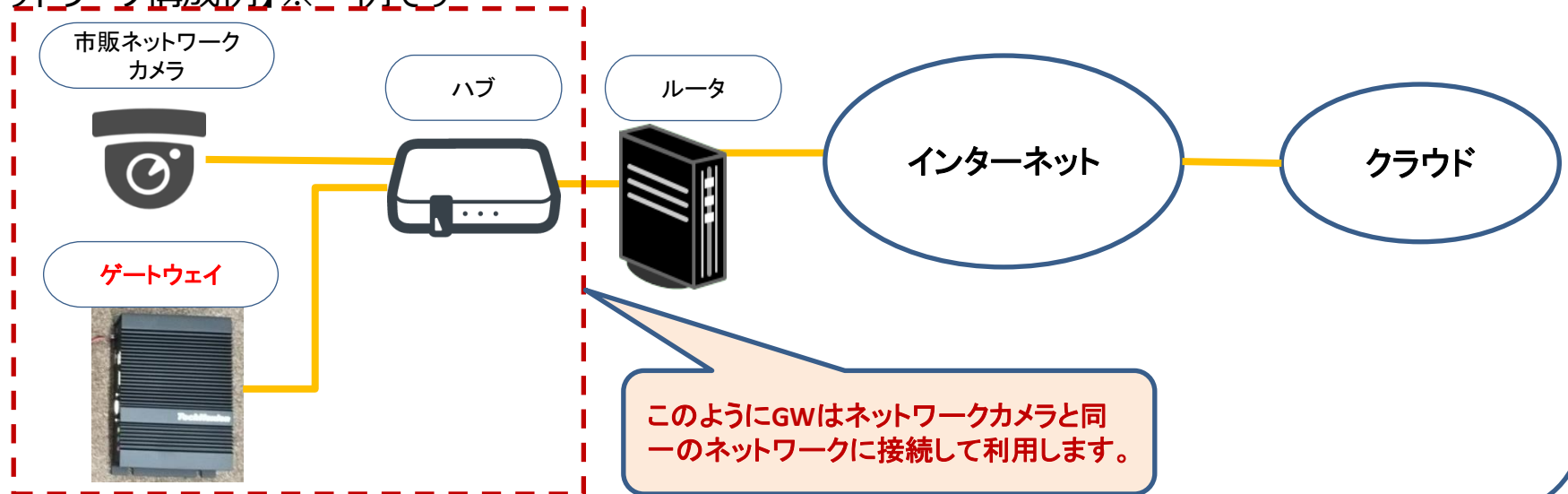
ここでは、GWの役割や、ネットワーク構成例等を記述します。

【ゲートウェイ(GW)とは】

現在ご利用のネットワークカメラを「クラウドプラン」で利用する場合に、クラウドに接続するための仲介者です。ネットワークカメラはGWに映像を送り、GWがクラウドに映像を送信して保存します。筐体のイメージは下図を参照ください。



【ネットワーク構成例】※一例です



2. 設定

2 - 1. 市販カメラに必要な設定について

本章では、GWをご利用いただくにあたり、市販カメラに必要な設定をまとめています。
市販カメラの機種によっては追加で必要な設定や作業がある可能性があります。
下記の設定を行っても動作しない場合、各カメラメーカーにOnvif（プロファイルS）をご利用いただくために必要な設定等をご確認ください。

※Onvif(プロファイルS)を満たしているカメラでも、録画できないカメラもあります。

2 - 2. 接続情報の設定

カメラ本体に以下の設定をします。

※カメラ機種により、項目名が違いますのでご注意ください。

番号	項目	値の例	説明
1	カメラ本体のIPアドレス (固定IPアドレス)	192.168.1.12	カメラ本体のIPアドレスを申込時に指定したIPアドレスにします。
2	カメラ本体のポート番号 (カメラのポート番号)	8088	カメラ本体のポート番号を申込時に指定したポート番号にします。 カメラ機種によってはOnvifとカメラ本体設定画面の2つのポートを設定するものもありますが、その場合はOnvifのポートに設定します。
3	カメラ本体の接続方法	HTTP	利用できるプロトコルはHTTPのみです。
4	カメラ本体ID	admin	申込時に指定したID/パスワードにします。
5	カメラ本体パスワード	A2jjqwe	使用文字は、ゲートウェイで使用可能な文字※と、カメラ本体で使用可能な文字の両方を満たす必要があります。 カメラ本体で使用可能な文字はカメラメーカーのマニュアル等を参照ください。 権限の選択がある場合は、管理者権限(Administrator)を指定します。

(参考)ゲートウェイで使用可能な文字 (ID/パスワード)

番号	確認項目	確認内容
①	カメラ本体のID	・英大文字、英小文字、数字のみで構成されていること。 ・30文字以内であること。
②	カメラ本体のパスワード	・英大文字、英小文字、数字、記号※のみで構成されていること。 ※記号は右記の内容を指します。!#\$%=-^~ *+_./.@ ・30文字以内であること。

2 - 3. 映像・時刻情報等の設定

カメラ本体に以下の設定します。

※カメラ機種により、項目名が違いますのでご注意ください。次ページ以降で参考としてPanasonicのカメラを例に設定方法を記載しています。

番号	項目	必須項目	値の例	説明	
1	アスペクト比	○	16:9	「16:9」にしてください。	
2	解像度	○	1280x720	「1280x720」を指定してください。 「1280x720」を指定できない場合は、「1280x720」以下の値を指定してください。	
3	映像コーデック形式	○	H.264	「H.264」にしてください。	
4	フレームレート	○	30fps	30fps以下にしてください。 「配信モード」という設定項目があるカメラ機種は、「フレームレート指定」という値も設定してください。	
5	ビットレート	○	1024kbps	「1024kbps」以下に設定してください。	
6	音声モード	-	G.711	「ACC-LC」「G.711」のいずれかを指定してください。	
7	Onvif利用有無	○	Onvif利用	設定項目がある場合は、Onvifを利用する設定にしてください。 ※設定項目が存在しない場合は設定不要です。	
8	NTP	○	時刻調整	NTPサーバーに同期	パブリックなNTPサーバーに同期させるように設定します。 指定しないとDHCPサーバから時刻を取得してしまう機種があります。 ※項目が存在しない場合は設定不要です。
	NTPサーバーアドレス取得方法		マニュアル		
	NTPサーバアドレス		ntp.nict.jp	パブリックなNTPサーバを設定します。 例) ntp.jst.mfeed.ad.jp ntp.nict.jp	
	ポート番号		123	指定したNTPサーバのポート番号を指定します。	
	時刻更新間隔		1時間	「1時間」間隔でNTP同期する設定にします。「1時間」を指定できない場合は、1時間以上で指定できる最小の時間にしてください。	

参考： 2 – (1)のIPアドレスとポート番号の設定画面例

カメラ本体の接続方法とポート番号についての設定画面例を示します。



注意： カメラ機種により画面が異なります。

- ①左側メニューの「ネットワーク」ボタンをクリックします。
- ②「HTTPポート番号」の値を確認します。
この値が、「カメラ本体のポート番号(カメラのポート番号)」になります。
- ③「接続方法」の値を「HTTP」に変更します。

ネットワーク

IPv4ネットワーク

接続モード 固定IP

IPアドレス(IPv4) 192 . 168 . 12 . 11

サブネットマスク 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ 192 . 168 . 12 . 1

DNS Auto Manual

プライマリサーバーアドレス 202 . 234 . 282 . 6

セカンダリサーバーアドレス 221 . 113 . 189 . 250

IPv6ネットワーク

手動設定 On Off

IPアドレス(IPv6)

デフォルトゲートウェイ

DHCPv6 On Off

DNSプライマリサーバーアドレス

DNSセカンダリサーバーアドレス

IPv6/4共通

HTTPポート番号 80 (1-65535) ②

通信速度 Auto

HTTPS

CRT鍵生成 実行

自己証明書 生成 実行

情報 test 確認 削除

署名リクエスト(CSR)生成 実行

CA証明書 サーバー証明書インストール 参照... 実行

情報 無効 確認 削除

接続方法 HTTPS ③

HTTPSポート番号

設定

↓ 次のページへ

カメラ本体設定の画面でアスペクト比やエンコードなどを変更します。



注意： カメラ機種により画面が異なります。本作業により映像がやや横長になります。

- ①以下を参照し、カメラ本体設定画面へログインしてください。
- ②左側メニューの「カメラ」ボタンをクリックします。
- ③「アスペクト比」を「16:9」に変更します。
- ④「設定」ボタンをクリックします。

The screenshot displays the camera configuration web interface. On the left, a vertical menu contains buttons for '基本' (Basic), 'カメラ' (Camera), 'マルチスクリーン' (Multi-Screen), 'アラーム' (Alarm), 'ユーザー管理' (User Management), 'サーバー' (Server), 'ネットワーク' (Network), 'スケジュール' (Schedule), and 'メンテナンス' (Maintenance). The 'カメラ' button is highlighted with a red box and a circled '2'. The main content area is titled 'JPEG/H264' and includes tabs for 'カメラ動作' (Camera Operation), '画質/ポジション' (Image Quality/Position), and '音声' (Audio). Under '画質/ポジション', the 'アスペクト比' (Aspect Ratio) is set to '16.9', which is circled in red with a circled '3'. A '設定' (Settings) button is also circled in red with a circled '4'. Below this, the 'JPEG' section shows 'ライブ画 (初期表示)' (Live Image (Initial Display)), '画像更新速度 *' (Image Update Speed) set to '30fps', '解像度' (Resolution) set to '640x360', and '画質選択' (Image Quality Selection) set to '画質 1'. The '画質設定' (Image Quality Settings) section shows three rows of quality options for resolutions 1280x720, 640x360, and 320x180, each with '画質 1' and '画質 2' dropdowns set to '標準' (Standard) and '8'. A '設定' (Settings) button is located below these options. At the bottom, the '動画画信形式' (Video Image Format) is set to 'H264' with a radio button, and an '設定' (Settings) button is at the very bottom.

前のページからのつづき。



注意： カメラ機種により画面が異なります。

①左側メニューの「カメラ」ボタンをクリックします。

②画面を下にスクロールすると「H.264(1)」の項目があります。(機種によっては「H.264」と表記されていることもあります)

この項の「H.264配信」を「On」に変更します。

③「解像度」を「1280x720」に変更します。プルダウンにない場合は、「1280x720」より小さい値の中で最大の解像度を選択してください。

④「配信モード」を「フレームレート指定」に変更します。

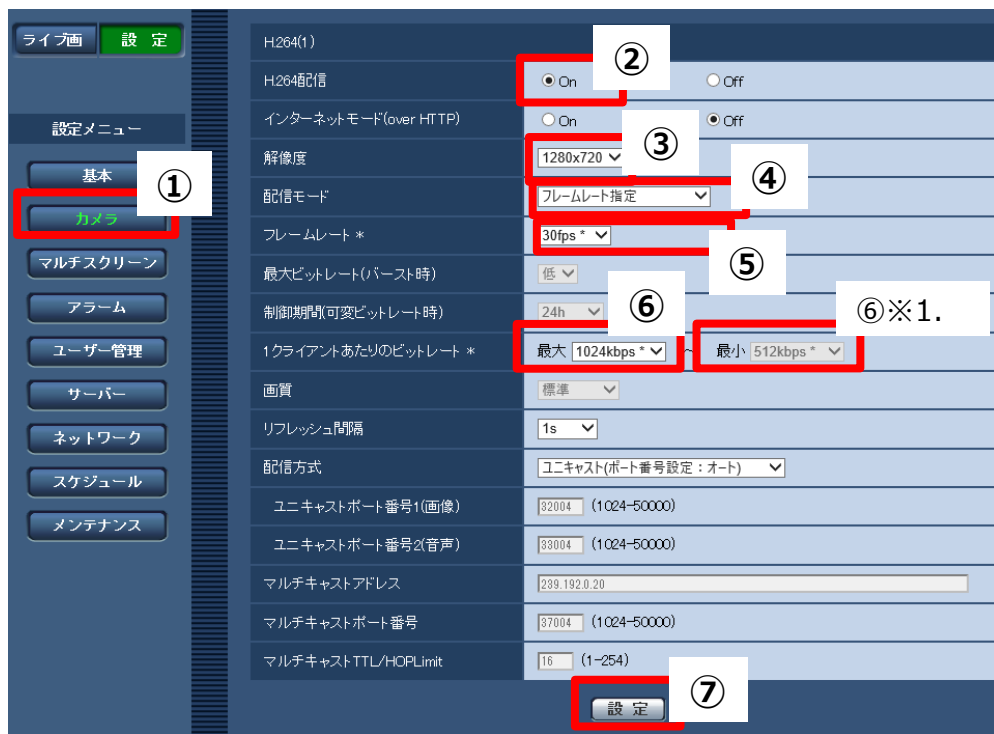
⑤「フレームレート」を「30fps」に変更します。

⑥「1クライアントあたりのビットレート」の「最大」を「1024kbps」に変更します。※1「最大」がない場合右下参照

⑦「設定」ボタンをクリックします。

※1.右下図のようなポップアップが出た場合は「OK」をクリックします。

※2.カメラ機種によっては、最小ビットレートについてのエラーが出ることがあります。エラーが表示された場合は、「1クライアントあたりのビットレート」の最小値の設定を上げ、エラーが出ない値に調整してください。



【⑥※1.補足】
下記のように「最大」「最小」がない場合は「512kbps」に変更します。

【⑦※1.補足】

Web ページからのメッセージ



「H.264配信(録画)」が「On」に設定されているため、JPEG画像の「画像更新速度」は「5fps」で動作します。

OK

キャンセル

前のページからのつづき。



注意： カメラ機種により画面が異なります。

①左側メニューの「カメラ」ボタンをクリックします。

②「ライブ画初期表示ストリーム」を「H.264」に変更します。この項目がない場合は本ページの設定の必要はありません。

③「設定」ボタンをクリックします。

④設定変更されているかを確認するため、「カメラ」ボタンをクリックします。

⑤上記②の設定が変更されていることを確認します。変更されていない場合は、手順①からやり直してください。

設定メニュー	
基本	
カメラ	①
マルチスクリーン	④
アラーム	
ユーザー管理	
サーバー	
ネットワーク	
スケジュール	
メンテナンス	

配信モード	フレームレート指定
フレームレート *	30fps *
最大ビットレート(バースト時)	低
制御期間(可変ビットレート時)	24h
1クライアントあたりのビットレート *	最大 1536kbps * ~ 最小 128kbps *
1クライアントあたりのビットレート *	最大 1536kbps * ~ 最小 128kbps *
画質	標準
画質	1 高画質
リフレッシュ間隔	1s
配信方式	ユニキャスト(ポート番号設定: オート)
ユニキャストポート番号1(画像)	82014 (1024-50000)
ユニキャストポート番号2(音声)	83014 (1024-50000)
マルチキャストアドレス	239.192.0.21
マルチキャストポート番号	87004 (1024-50000)
マルチキャストTTL/HOPLimit	16 (1-254)

設定

プラグインソフトウェアでのライブ画スムーズ表示(バッファリング) On Off

ライブ画初期表示ストリーム H.264 H.265

設定 ③

参考： 2 - (3). 音声の設定

カメラ本体設定の画面で録音の設定をします。機能がない場合や使用しない場合は、本設定は不要です。



注意：カメラ機種により画面が異なります。ゲートウェイではスピーカ（送話）機能は使用できません。また、内部マイク搭載のカメラでも録音（受話）が使用できないカメラもあります。以下の設定を行っても録音できない場合は、使用できないカメラになります。

①左側メニューの「カメラ」ボタンをクリックします。

②「音声」タブをクリックします。

③「音声モード」が「Off」または「なし」の場合は現在音声を使用していないため、本ページの設定の必要はありません。その他の場合は「受話」に変更して、以下に進んでください。
※「受話」に変更すると送話(カメラから音を出す)ができなくなりますのでご注意ください。

④「音声圧縮方式」が「ACC-LC」「ACC-LC(高音質)」「G.711」のいずれかが選択されている場合は、音声の設定変更（本ページの作業）は不要です。それ以外が選択されている場合は、(1)「ACC-LC」、(2)「G.711」の優先順位で設定変更します。

⑤「設定」ボタンをクリックします。

⑥設定変更されているかを確認するため、「カメラ」ボタンをクリックします。

⑦「音声」タブをクリックし、上記③、④の設定が変更されていることを確認します。変更されていない場合は、手順①からやり直してください。



参考： 2 - (4). 時刻同期の設定

カメラ本体設定の画面でNTPを設定します。



注意： カメラ機種により画面が異なります。

- ①カメラ本体設定画面へログインしてください。
- ②左側メニューの「サーバー」ボタンをクリックします。
- ③「時刻調整」を「NTPサーバーに同期」に変更します。
- ④「NTPサーバーアドレス取得方法」を「Manual」に変更します。
- ⑤「NTPサーバーアドレス」をパブリックなNTPサーバのアドレスに設定します。
例) ntp.jst.mfeed.ad.jp
ntp.nict.jp
- ⑥「ポート番号」を「123」に変更します。
- ⑦「時刻更新間隔」を「1h」に変更します。
- ⑧「設定」ボタンをクリックします。



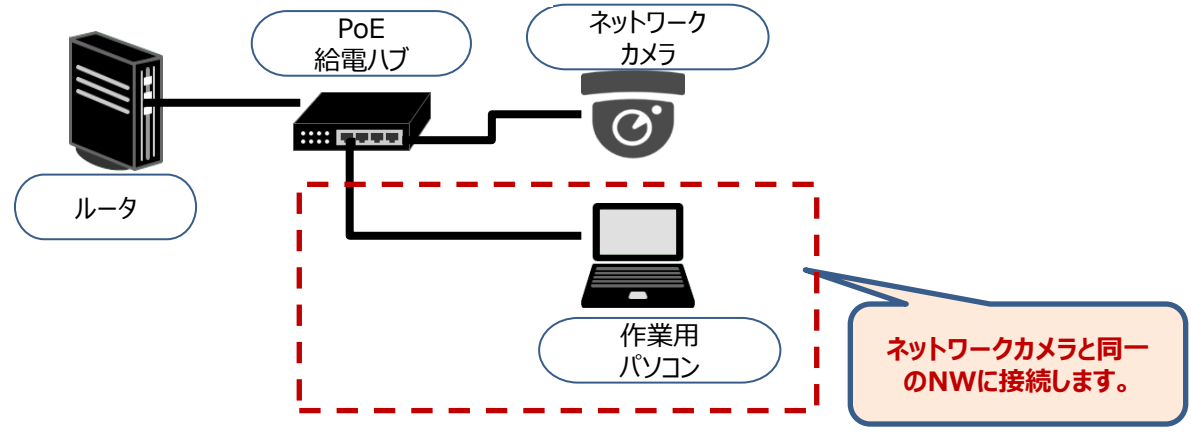
別紙. (参考)共通作業

別紙－ 1. ネットワークへのパソコンの接続例

ネットワークカメラと作業用パソコンを同一のネットワーク上に接続します。

- ①カメラ本体の設定変更をするための作業用パソコンを以下のようにネットワークカメラと同一のネットワークに接続します。
※以下は例となります。実際には、お客様環境に合わせて接続してください。

【主な構成例 1 : PoE給電ハブを使用するパターン】



【主な構成例 2 : ACアダプタを使用するパターン】

